

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-98	高等学校	国語	国語総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
117 明治	国総 354	新 高等学校 国語総合		

1. 編修の趣旨及び留意点

高等学校学習指導要領「国語総合」に掲げられた趣旨や目標を効果的に達成することに留意し、次の方針を立て、それに準拠した。

- a 「A 話すこと・聞くこと」領域は、年間 17 時間程度の学習を目標とし、「B 書くこと」領域は、年間 30 時間程度の学習を目標とした。また、「C 読むこと」領域は、年間 93 時間程度の学習を目標とした。更に相互に有機的な関連を持たせるようにした。[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]については、言語に関する能力の充実を図るため、それぞれの領域の中で指導できるようにした。
- b 教材は、もっとも基本的で価値が高く、生徒の心情や発達の段階を考慮した、親しみやすい作品の中から厳選した。また、言語文化に対する関心や理解を深めるため、言語活動が十分行われるよう適切に選定した。
- c 厳選した作品の中から、内容・長短・難易などを考慮して、より適切な部分を掲げた。
- d 教材は、表記を工夫して読みやすくし、言葉の上での抵抗を少なくするように図った。漢文教材は訓点を施し、また、教材によっては書き下し文を併用するなどして、理解しやすいように工夫した。
- e 古典に親しみ、興味を広げることができるように、古典を学ぶ意義を理解しやすい作品を掲げた。

2. 編修の基本方針

下記の編修の基本方針に則り、基本的に「国語総合」全ての教材の内容を通して教育基本法第 2 条各号に示す目標を達成するよう教材を選択し、配列した。その中で特徴的な教材については「3. 対照表」に示した。

「国語に親しみ、豊かな感性とバランスのとれた知性を持つ創造的人間を育てる」

- a 文章を論理的に理解し、思考する力を養う。
- b 優れた文学作品に触れ、感受性・情緒性豊かな想像力や思いやりの心を育む。
- c 表現力・コミュニケーション力・創造力を高め、社会性・国際性を育み、生きる力、課題解決能力を培う。
- d 古典に親しみ、自国の文化についての理解を深める。
- e 生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。

3. 対照表

(例)

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第 1 号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	豊かな情操を養う、という観点から冒頭教材は随想とし、自己・他者の心情を汲み取り、表現する助けとなるように工夫した。	12頁1行目～17頁11行目

<p>第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<p>職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う、という観点から、「研究」に働くことの目的、意味等について考えさせる内容を盛り込んだ教材「働くことの意味」を掲げた。</p>	<p>176頁1行目～183頁4行目</p>
<p>第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>主体的に社会の形成に参画し、その展に寄与する態度を養う、という観点から、それらにつながる事柄について自ら考え、意見を述べるという活動を具体的例示とともに掲げた。</p>	<p>148頁1行目～163頁16行目</p>
<p>第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う、という観点から、端的にその内容に触れ、考えさせる教材「マンモスの歩いた道」を掲げた。</p>	<p>88頁1行目～95頁14行目</p>
<p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、日本人としての自覚を持ちながら世界の中の日本を考え、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う、という観点から、古文・漢文を学ぶ意義に触れた文章や古典に関する近代以降の文章を掲げ、興味関心を広げながら、我が国の伝統と文化を、古典教材や「言葉のi」等から学び取れるように工夫した。また、国際社会へと視野を広げられる近代以降の文章を掲げた。</p>	<p>256頁1行目～387頁11行目 47頁・73頁・175頁・191頁</p>
<p>4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</p>		
<p></p>		

1 漢文入門	なぜ漢文を学ぶのか	(1)		ア イ						P. 342			1
		(2)											
	漢文入門	(1)		ア	ア-ア ア-イ				イ	P. 343~348			
		(2)											
	再読文字のまとめ	(1)			ア-ア ア-イ					P. 349			
		(2)											
故事 守株・螳螂之斧・蛇足・断腸	(1)		ア ウ	ア-ア ア-イ イ-イ				イ イ	P. 350~354				
	(2)												
置き字のまとめ	(1)			ア-ア ア-イ					P. 355				
	(2)												
2 十八史略	鶏口牛後	(1)		ア ウ	ア-ア ア-イ			ウ	P. 356~357				
		(2)											
	鼓腹撃壤	(1)		ア ウ	ア-ア ア-イ イ-イ				P. 358~359				
		(2)											
	臥薪嘗胆	(1)		ア ウ	ア-ア ア-イ イ-イ				P. 360~363				
		(2)											
3 唐詩	漢詩のリズム	(1)		ア イ					P. 364~365				
		(2)											
	春曉・秋日・静夜思・江雪・山亭夏日・送元二使安西・春望・八月十五日夜、禁中独直、对月憶元九	(1)		ア ウ エ	ア-ア ア-イ イ-イ				P. 366~372				
		(2)						イ					
	日本漢詩	(1)		ア イ	ア-ア ア-イ				P. 373				
		(2)											
漢詩の手引き 漢和辞典の引き方	(1)		ア イ	ア-ア				P. 374~375					
	(2)												
4 論語	論語	(1)		ア ウ	ア-ア ア-イ				P. 376~381				
		(2)											
	儒家と道家	(1)		ア イ					P. 382~383				
		(2)											
5文	桃花源記	(1)		ア ウ エ	ア-ア ア-イ			P. 384~387					
付録	文法要覧	(1)			ア-イ				P. 388~397				
		(2)											
	日本文学史年表	(1)						ウ	P. 398~408				
		(2)											
	参考図録	(1)				ア-ア			P. 409~411				
		(2)		ウ									
	重要古語の解説および索引	(1)				ア-ア			P. 412~416				
		(2)											
漢文の基本句形	(1)				ア-イ			P. 417~418					
	(2)												
常用漢字表 常用漢字表 付表	(1)						ウ	P. 419~431					
	(2)												
古典参考図録	住居	(1)							口絵1				
		(2)											
	女性の装束	(1)							口絵2				
		(2)											
	男性の装束	(1)							口絵3				
		(2)											
	平安京条坊図・大内裏・内裏	(1)							口絵4				
		(2)											
京都付近図	(1)							見返し 4					
	(2)												
中国新旧参考地図	(1)							見返し 5					
	(2)							~6					
計										17	30	93	